

<http://videoner-biznet.net/>

## 📷 5月定例会のご案内

### 「小学校の営業」DVD・BD上映と質疑応答 「6月映写会のお題決め」

近藤さんの「小学校の営業」が2時間では収まりきれないほどの濃厚な内容でした。質疑応答の時間が足りなかったようですので、5月定例会では、実際に近藤さんが納品したDVD・BDの映写と続きの質疑応答を行う予定です。皆さん質問事項をまとめて次回定例会に参加しましょう！

6月は恒例の映写会ですので、お題を決めたいと思います。

また、今回より脇田が会報担当になりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

次回定例会は

日時 2018年5月21日(月) 18時～20時

場所 日暮里サニーホール 第3会議室  
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5  
ホテルラングウッド5階 03-3807-3211  
JR・京成日暮里駅より徒歩5分

**今回はテスト的に、18時から開始です  
お間違えのないように！**

ビデオナービズネット(日本映像製作者協会)とは  
個人規模で映像関係を業務としている事業者  
及びそのことに関わっている者の組織です。

## 👥 4月定例会のご報告

近藤さんの講義ということで、多くの会員が集まりました。内容も「小学校の営業」。営業で苦労している会員もまだまだたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか？19ページにもものぼる資料を用意しての近藤さんの講義は、まさに圧巻の一言でした。「プロだからこそ、ここまで徹底してやる」という仕事に対する厳しい姿勢、映像制作暦30年以上にもなる近藤さんの知識と経験と心構え、これらを余すことなく聞くことができました。当日残念ながら参加できなかった方は、会のWEBサイトの「インターネット映像配信」の「2018年4月定例会オンデマンド」を是非ともご覧ください。仕事成功の秘訣が見つかるはずです。

2回ほど見学されていた千葉さん(市川市在住)が正式に入会されました。



## 会員コラム

高橋さんから「西湘のビデオ屋稼業」  
吉岡さんから「よっしーのお手伝い日記」  
が続きます！

## 西湘のビデオ屋稼業

2018.5月 高橋 昌一

この時期の今年の今日は、外に出れば、日差しも、空気も、空高く広がっている感じがする――。

H29 年度後半に撮影した分の編集作業も峠を越えた。残っているあとわずかは、納期も緩いので、気分もひと段落&ややの放心気味。

編集スタイルも、随分変わってきた。最初はとにかく力任せ、独りよがり、の編集が多かった。特に映像冒頭のオープニングタイトル（撮影行事名・撮影年月日テロップ挿入のため）は手間ヒマかけて作りこんでいた。時間も3分位と長目。様々なエフェクトや手法を多用し、とにかく本編内容に似つかわしくないほどのオーバースペック状態。してそのココロは？もちろん見栄とカッコつけ。それがあるとき突然「俺は何やってんだ?!」となってきた。主にありのままの記録として撮影しているはずの各行事。そこに演出盛り盛りオープニング映像を載せていることに、ようやく違和感を覚えてきた。で、今は60秒くらいにして控えめにあっさり仕上げている。

撮影でも変化が出てきた。ホール撮影等ではほとんど気にすることは無いが、例えば幼稚園での「お泊り保育撮影」では集合ポーズ撮影以外でのほとんどは、子供や先生には一切の注文を付けずに撮影するようにしている。ようは「ありのまま」のそのときの今を記録するように心がけている。極端に言えば、可能な限りカメラ視線を外した映像だ。これはあるお母さんとの会話がきっかけ。

「ビデオ屋さんはキッチリとした映像は撮ってくれるけど、私たちはそれとは別に、もっともっとグチャグチャした映像も欲しいんです」

ようは我が子だけでなく、その周りにもいる大勢の子供たちがランダムに存在している映像も観たがっていた。グチャグチャ＝被写体無特定のありのまま、ということだ。そうは言っても、ほとんどの撮影では「グチャグチャ」のシチュエーションは限定されて多くはないが、この時の会話は僕にとっては、とても、ある大きな暗示となっていて、いつも頭のどこかに引っかかっている。

（ちなみにこの3月のある幼稚園での謝恩会の撮影は、グチャグチャの極みでほぼ手持ちでG0～！ 大変だったけどそれも面白かったかな）

この辺りの考え方は人それぞれだろうが、結局このどちらも、今の自分にとって気持ちの収まりは良い。まあ、自分の中で起きた一種のアップデートのようなものか。

# よっしーのお手伝い日記 (1)

アソシネット株式会社 吉岡

## 前田ビデオ工房、子供ミュージカル

前田さんとは、仕事以外では 2 年に 1 回ほど会うけど、前田さんの仕事は初めてだ。ミュージカルの撮影も、自分にとっては初めてのこと。

前田さんのスタイルは、1 人ひとりに 1 台のカメラを担当してもらい、センター・上手(かみて)・下手(しもて)の 3 人で撮影すると聞いている。

同じ演目をずっと見ることになるので、内容は全部憶えていると言っていた。

自分のこれまでの撮影は、リハーサルを見るものもあるが、内容的にはぶつつけ本番みたいなもの。内容を憶えて先回りしないといけないのか。

### 2018 年 3 月 9 日 船橋市(打ち合わせ)

過去の映像を見ながら、各カメラの役割をチェック。今回、私は引き(センター)の映像担当だ。

スタートはステージ全体を映し、生まれれば、緩いフルショットまで寄る。グループの場合は、緩いグループショットになる。その繰り返し。各演目のスタートとエンドが主である。

作業的には単純かもしれないが、ズーム、パン・チルト、右手の操作を全てゆっくりとスムーズにする必要がある。私の担当の映像では、全部、パン棒+ズーミングが含まれる。しかも、一番目立つ部分で。これができなければ、パッケージとしてダメなことだ。3 時間が 5 公演。なかなか厳しい仕事になりそうだ。

### 2018 年 4 月 6 日 下北沢(リハーサル、夜の部 本番)

観客数 200 人程度のホール。

カメラ設定は、前回の打ち合わせで聞いているので、その通りに。

音声もチェック。私のカメラの引きの映像に、もらった音を収録する。予備のために、IC レコーダを設置し、もらった音のバックアップとエアの音を兼ねる。

前田さんは、各カメラの映像をチェックしていた。普段はリハーサルの後に、モニターで各カメラの映像を流してチェックするそうだ。

今回は別の現場の撮影があるということで、前田さんは途中で退席することになる。ビズネット会員の脇田さんが下手のカメラ、もう一人の応援の方が上手のカメラを担当する。

リハーサルでは、ひたすらズームとパン棒の練習をした。

演者は、本番と同じことをしている。そういえば、本番と同じことをするリハーサルって、あまり経験がないかも。私が撮影した中のリハーサルでは、重要な演目だけをやったり、ポイントだけをチェックすることも多い。また、本番で急に変わる場合もあるし。だから、本番と同じことをしてくれるのはとてもありがたい。

ホールのライトを消すと、真っ暗に。これは失念していた。前田さんからペンライトを借りる。

夜の部、本番。リハーサルの時から暑かったが、さらに会場の温度が上がって、ものすごく暑い。私の場所はお客さんも入ってこないし、動けるスペースがあるので、いくぶん楽だが、客席の中に設置している上手・下手のカメラは大変だろう。

緊張は高まってくるが、本番が始まってしまえば、やるしかないと割り切る。いつもと同じだ。まずは最初のズームを失敗しないように祈る。

この日の終了間際、前田さんと合流。今日は、時間が遅いので、ビジネスホテルを借りる。都心は高い。1万円でも泊まれなさそうだったので、小田急線で30分ほど行った町田駅に。6,000円だった。

### 2018年4月7日 下北沢(昼の部、夜の部 本番)

24時間やっているディスカウントストアで、ペンライトを買う。できるだけ、弱いライトのものを選ぶ。

演目は、ダブルキャストだ。昼の部 A チーム、夜の部 B チーム。セリフや、やっていることは同じなのだが、動きや間が違う。

昨日もだが、昼食・夜食が出る。休憩中は、3人でずっとビデオや撮影の話だ。いろんな人の話は参考になる。

今日も前田さんは朝から別の現場。夜の部の途中で、前田さんと合流。

終了時間は昨日よりも30分早いので、自宅、山武市へ戻る。東京駅から高速バスで1時間半。使わなかった機材も、一緒に持って帰る。

### 2018年4月8日 下北沢(昼の部、夜の部 本番)

今日は前田さんが朝からいる。上手カメラ 脇田さん、下手カメラ 前田さんだ。

撮影時には、自分は液晶画面を確認する(70%ゼブラを使用)が、前田さんはファインダーを覗き、脇田さんはモニターをつないで少し大きな画面で見ている。ちなみに昨日のビデオカメラマンは液晶画面だったが、普段はスイッチャーを使っているという。本当に人それぞれだ。自分は、液晶も自分の目もあまり当てにしてないので、明るさはゼブラで調整するのだが、どうも少数派らしい。

設定等は、昨日・一昨日と同じ。

明るさに関して、明るい→暗い に変化させると何ともカッコ悪いとのことで、暗め→明るく にしてくれとの注文があった。そっちの方が間違いがないのだろう。

昼の部の第二部。痛恨のミス。

スタートは、だいたい真っ暗からなので、三脚にテープを貼り、目印としている。しかし、ペンライトを

点け忘れ、目印がわからない。慌てた様(さま)が映像に出てしまった。それまで順調に来ていただけに、つらい。早く気を取り直さなくては。

昼食を食べながら、素直に謝る。なかなか完璧には いかないよ、と言ってもらえて ありがたかった。自分の中での大きなミスは、とりあえず この1回だけ。時間にすれば2秒くらいだろうけど、残念さが拭えない。

20時30分、撤収。私と前田さんは電車。脇田さんは車で来ていた。

自分は機材をキャリーに積んで運ぶが、前田さんはその振動を嫌って、ビデオカメラ・三脚を手で運んでいた。自分も以前はそうしていたが、体力の残りを優先してしまう。

以上